

## 2020 年度第 3 回 OLSP 運営会議 抄録

日時：2020 年 6 月 15 日（月） 14：00~16:00

会場：WebEX

出席者（敬称略）：有田、大浪、粕川、小林、田中、榎屋、横田、関口（記録）  
情報システム本部推進室 志岐、今井、御法川

### 1. 報告事項

#### ① 生命科学分野の連絡協議会の状況について（志岐）

志岐より美濃理事とセンター長との協議会参加依頼の進捗について報告があった。7 月中に各センターからの代表者の選出するように依頼している。おおむねユニット設置に反対意見はない。センターの意向によっては、ユニット兼務せずに該当センターのみの身分となる場合もあるだろう。

#### ② FY2021 概算要求の状況について（志岐）

- ・ 生命科学分野だけでなく他分野においても、理研が日本全体を牽引するようなプロジェクトであることが求められるようになった。引き続き予算要求をすすめる旨報告があった。
- ・ 生命科学分野では他の組織が提供するデータベースとの関係等について説明を求められている。理研はデータを生み出せるという点で他の機関と比べて優位性があり、さらに産出したデータを解析することができる。

#### ③ OLSP 所内公開 HP について（粕川）

所内公開 HP を作成した。

#### ④ OLSP 所外公開 HP について（粕川、大浪、関口）

所外 HP の更新を関口が行うことでも了承された。2019 年度の活動を公開予定である。掲載する成果・活動報告の問い合わせ先を明記したほうがよいという意見があった。

### 2. 審議事項

#### ① 無期 PI「統合データ解析」国際公募について（大浪）

大浪より無期 PI 国際公募について、概要の説明があった。

#### ② 所内公募について（粕川）

公募課題の募集文案が提示され、承認された。

[コンテスト型のテーマ決めについて]

公募カテゴリー2 コンテスト型の実施をどのような形式でおこなうか審議した。「テーマを与えたコンテスト」あるいは「アイデアコンテスト」を実施する案があげられた。前者は評価基準が明瞭である「画像コンテスト」のような正解があると定量評価をし易いが、そのためのデータを今から作成することはとても労力がかかる、という意見があった。後者は、評価基準が主観的になり難しい、自身では実験できない研究者・ライフ分野外の研究者も応募することができる、といった意見があった。審議の結果、当初コンテストのねらいは課題設定をし、それに対する挑戦者を求めるものであったことから、テーマがないならば、まずはコンテスト型の実施は保留とすることとなった。コンテストの開催にあたってはどれくらいの応募数が見込める、募集範囲などさらに検討が必要である。アイデアコンテストを開催するならば別口で募集することとなった。よって、公募は、まずは研究提案型・データ提供型の2カテゴリーのみ募集を進めることとなった。募集範囲は全理研が対象となる。申請書はシンプルにして応募者・審査負担が軽減されるようにする。研究期間が年度を超えているが、予算繰越ではなく、次年度分は次年度予算から配賦する。

③ 2020年度の活動について（大浪）

配布資料2の通り、大浪より各活動の担当者案の提示があり、合意を得た。なお、担当者は一人で作業するというのではなく、スケジュール管理などのドライビングフォースを担う。

3. その他

- ① RCBN について次回以降へ持ち越し。
- ② 今年度予算はこれから配賦される。
- ③ 次回の運営会議

2020年7月9日(木) 14:00-16:00

会場： WebEX

以上

## 2020年度第3回OLSP運営会議

### 1. 報告事項

- ① 生命科学分野の連絡協議会の状況について（志岐）
- ② FY2021概算要求の状況について（志岐）
- ③ OLSP所内公開HPについて（粕川）
- ④ OLSP所外公開HPのupdateについて（粕川、大浪、関口）

### 2. 審議事項

- ① 無期PI「統合データ解析」国際公募について（大浪）
- ② OLSPプロジェクト所内公募について（粕川）
- ③ 2020年度の活動について（大浪）

### 3. その他

- ① RCBNについて（大浪）

次回運営会議（7/9）

# 2020年度のOLSPの活動（案）

OLSP データ集 WS（2020 年 1 月 20-21 日）の 資料を改変
--

- 各拠点の公開DBの統合 →担当：榎屋？
  - メタデータレベルでの連携・統合 →担当：榎屋？
    - 各DBの年度更新、DBの拡張
    - メタデータ電話帳の更新、（小林、山縣）
    - メタデータをリッチにつける
  - オントロジーの指針作り、コンサル →担当：榎屋、山縣？
    - オントロジーコンサルティングの仕組みの構築
- 各拠点の限定共有データに関する仕組み作り →担当：小林？
  - メタデータをデータ産出時に取得する仕組み
    - 限定公開用のMetaDBシステムの整備 →小林
    - メタデータレベルでの公開データを貯める、宣伝
    - さらに深い議論
- 各分野のDBの国際連携の促進 →担当：大浪？
  - 異種モダリティでの同時計測データの扱い
    - 状況の把握と具体的な方策の決定
  - オントロジーの国際的システムの活用、への貢献
    - 理研としてプロポーズする方向で、できればY2020
  - 各種モダリティで国際標準化作業への参加状況の調査
    - 調査の実施。手薄なところがあれば、アサイン
- 公開・共有データを活用した成果の創出 →担当：粕川？
  - 実験部分の取り扱い
  - 所内公募 →担当：粕川TL
- 教育、人材育成 →担当：有田？
  - コンテスト →公募の中に含めたという理解でOK？
    - 表彰
    - やる方向で
      - インセンティブ設計
  - 教育 →担当：有田、津川？
    - 横浜以外で可能か
    - 継続審議、とりあえず横浜に頑張ってもらおう。